

1. 高橋 聡

現 職:東北大学多元物質科学研究所 教授

生年月日:1964年12月17日

学 歴:1987年 東北大学理学部化学科卒業

1989年 東北大学大学院理学研究科化学専攻 修士課程修了

1992年 総合研究大学院大学機能分子科学専攻(分子研)博士課程修了博士(理学)

職 歴:1992年 日本学術振興会特別研究員(分子研)

1993年 AT&T ベル研究所(マレーヒル) 博士研究員

1995年 理化学研究所(和光) 基礎科学特別研究員

1996年 京都大学大学院工学研究科分子工学専攻 助手

2003年 大阪大学蛋白質研究所 助教授

2009年 東北大学多元物質科学研究所 教授

専門分野:一分子蛍光分光法, 振動分光法, 速度論的方法などを用いて, タンパク質のフォールディングをはじめとする分子ダイナミクスを調べています.

生物物理学会とのかかわり:

留学時に一時退会しましたが, 学生時代からの会員です. これまでに理事会メンバーを複数回, 中村会長の時(2015-16)の副会長, 「生物物理」誌の編集委員長(2020-21), 昨年の年会実行委員長などを務めました. 私にとって本学会は, 才能と志を持つ多くの仲間と集うことができるとても大切な場です.

2. 永井 健治

現 職:大阪大学産業科学研究所 教授

生年月日:1968年9月29日

学 歴:1992年 筑波大学第二学群生物学類基礎生物学専攻卒業

1994年 筑波大学農学研究科応用生物化学専攻 修士課程修了

1998年 東京大学医学系研究科脳神経医学専攻 博士課程修了 博士(医学)

職 歴:1995年 日本学術振興会 特別研究員 (DCI)

1998年 理化学研究所 基礎科学特別研究員

2001年 理化学研究所 脳科学総合研究センター 研究員

2001年 科学技術事業団さきがけ研究 21「生体分子の形と機能」研究員

2005年 北海道大学電子科学研究所 教授

2012年 大阪大学産業科学研究所 教授(現在に至る)

専門分野:蛍光タンパク質や生物発光タンパク質,それらに基づく各種指示薬の開発がメインです.これらのツールを活かし,自身の研究室の枠を超えて多くの研究者と共に少数性生物学やシンギュラリティ生物学という新しい視点から生命現象を捉える研究を行っています.

生物物理学会とのかかわり:博士取得後に会員になり,運営委員(2012-2013)や理事(2014-2016, 2021-2022),副会長(2015-2016),欧文誌編集員(2013-2019),第57回(宮崎)年年会会長,IUPAB招致WG(2012-2018),国際関係委員会委員(2019~)として学会運営に携わって参りました.

3. 由良 敬

現 職:お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授
早稲田大学 先進理工学部 生命医科学科 教授(任期付)

生年月日:1966年2月10日

学 歴:1988年 早稲田大学理工学部応用物理学学科卒
1990年 早稲田大学大学院理工学研究科物理学及び応用物理学専攻 修士課程修了
1993年 名古屋大学大学院理学研究科生物学専攻 博士課程修了
1999年 博士(理学)

職 歴:1992年 名古屋大学大学院理学研究科 学術振興会特別研究員
1993年 名古屋大学理学部生物学学科 助手
1996年 名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻 助手
2002年 日本原子力研究所計算科学推進センター 研究員
2005年 日本原子力研究開発機構システム計算科学センター 研究副主幹
2008年 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 教授(現在に至る)
2013年 遺伝学研究所特任 教授(2017年3月まで)
2017年 早稲田大学先進理工学部生命医科学科 教授(クロスアポイントメント)

専門分野:計算生物学,特にコオロギゲノム解析と進化に関わるバイオインフォマティクス.

生物物理学会とのかかわり:

学部4年生の時から会員.運営委員を3期と副会長1期を務め,現在はABA担当.2020年度群馬年会では,大澤先生の補佐を務めた.計算生物学を次世代に広めていくことを本務とこころえ,お茶の水女子大学で日々学生10名以上を直接指導し,1週間に7コマ程度の講義を担当するかたわら,早稲田大学における生命科学データサイエンスの新展開をめざし,生命情報学の社会展開のために,AMEDのプロジェクトと昆虫食プロジェクトに関与している.